

## 豊前東芝エレクトロニクス(株) サイトレポート情報

所在地 : 豊前本社 福岡県豊前市大字沓川760番地  
 直方事業所 福岡県直方市大字上新入1891番地の1  
 敷地面積 : 豊前本社 67,345㎡ (建家面積 12,004㎡) 緑化率:20.2%  
 直方事業所 13,303㎡ (建家面積 6,549㎡) 緑化率: 9.9%(法適用外)  
 設立 : 1973年7月、正規従業員 : 豊前本社 683人 (2009年3月末時点)  
 直方事業所 149人 (2009年3月末時点)



主要製品 : LEDランプ, フォトカプラ, フォトセンサ, トスリンク, ダイオード 他

ISO14001認証取得 : 1996年2月、最新更新(統合)年月 : 2008年8月  
 ISO14001認証番号 : EC98J2014

### サイトの紹介

豊前東芝エレクトロニクス(株)は、東芝グループの一員として技術革新の激しい半導体事業の一翼を担い半導体製品の製造(後工程)を行っています。また、お客様に安定した高品質の製品とサービスを提供するとともに、東芝グループの経営理念に基づき、社会から信頼される企業を目指しています。

代表取締役 平井 克佳



### 2008年度の環境の主な取組み

#### ☆ISO14001環境マネジメントシステム認証

1998年1月に認証取得、2008年8月のセミコンダクター社統合審査にてサイト拡大認証審査合格。

#### ☆環境保全体制の充実

法令及び条例の順守。現場管理の強化。

#### ☆CO<sub>2</sub>排出量の削減

CO<sub>2</sub>(エネルギー)の対前年 1.0%削減(目標 対前年 1.0%削減)。目標達成

#### ☆廃棄物ゼロエミッションの継続

最終処分率は0.005%。目標達成。(目標:0.5%以下)

#### ☆環境に配慮した製品

環境に配慮した製品を32品種移管受け、量産化した。

#### ☆資材取引先に関する環境配慮

取引先に指導・支援(全5社)、廃棄物委託先確認(10件)

#### ☆全員参加・啓発活動の展開

環境月間・3R推進月間・省エネ月間による環境啓発活動、環境ニュース・環境保全カードの配布等。

#### ☆地域との交流

地域への各種環境行事への参加(3件)、地域住民との環境意見交換会開催、清掃ボランティア活動参加等

### 製品紹介および環境負荷低減施策

- ☆下水道への接続による廃棄物の削減。
- ☆排水処理設備の省エネタイプ切り替えによるエネルギーの削減。
- ☆コンプレッサー排熱処理向上によるエネルギーの削減。
- ☆製造設備への給水適正管理の徹底による水資源受入量の削減。



LEDランプ



トスリンク



フォトカプラ



フォトセンサ



ダイオード

### 環境コミュニケーションの紹介

☆環境報告書の発行 : 2004年度より毎年発行

☆地域とのコミュニケーションの促進

豊前市「花と緑の町づくり委員会」参加

豊前市「クリーンキャンペーン」参加

直方市「遠賀川河川敷チューリップ植え」参加

地域住民との「環境意見交換会」開催

豊前市職員による「(下水道接続に伴う)環境教育」実施



環境報告書



環境意見交換会



## 環境保全基本方針

## —理念—

豊前東芝エレクトロニクス(株)は、東芝グループの理念である「かけがえのない地球環境」を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ることで持続可能な社会へ貢献します。

## —方針—

豊前東芝エレクトロニクス(株)は、東芝セミコンダクター社グループの環境方針に基づき、環境保全への取組みを経営の最重要課題の一つと位置づけ、ディスクリート半導体の製造における環境負荷の低減を経営と調和させながら積極的に行い、環境にやさしい企業活動の推進と環境に配慮した製品の提供と省エネ・省資源を通じて社会に貢献することを目指し、以下の方針を定めます。

## 1. 倫理観(コンプライアンス)と継続性(サステナビリティ)

- 1) 環境保全に関する法令、その他当社が同意した業界などの指針および自主基準など 当社の環境側面に適用される法的要求事項および同意するその他の要求事項を順守します。
- 2) 環境保全活動レベルの向上を図るため、監査の実施や活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。

## 2. 実行(エクゼキューション)

企業活動の実行においては、当社に適用される全ての事業プロセスにおける環境側面について、環境影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止、環境配慮型製品の提供などに関する環境目的および目標を設定し、環境保全活動を推進します。

- 1) コンプライアンスの徹底を図るため、環境マネジメントシステムの統合化により環境経営の一元化に取組みます。
- 2) 化学物質の適正管理と使用量削減を推進し環境配慮型製品の提供を通じ、社会の環境負荷低減に取組みます。
- 3) 生産性の向上、動力および製造設備を中心とした省エネルギー・温暖化ガス排出削減施策の実施、物流の効率向上により地球温暖化防止を推進します。
- 4) 循環型社会構築のために生産性の向上、3Rの取組みを積極的に進め、廃棄物排出量の削減、水資の受入量の削減施策の実施により資源の有効活用を推進します。
- 5) 瀬戸内海国立公園内の豊前海に隣接した立地条件を認識し、閉鎖性海域の水および遠賀川水系の水を守るため排水管理の充実を図ります。
- 6) 地域社会との環境コミュニケーションの促進を図り、更に社外行事への積極的参加を通じて、ステークホルダーとの相互理解の促進に取組みます。
- 7) 従業員の環境意識を高め、環境に配慮した企業活動をグループ全員で実行します。

この環境保全基本方針は、社内外に開示するとともに 当社で働くまたは当社のために働くすべての人々に周知し、方針に沿った企業活動を推進します。

2009年 4月10日

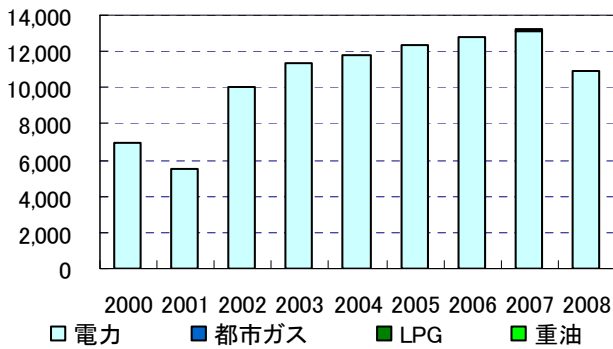
豊前東芝エレクトロニクス株式会社

代表取締役

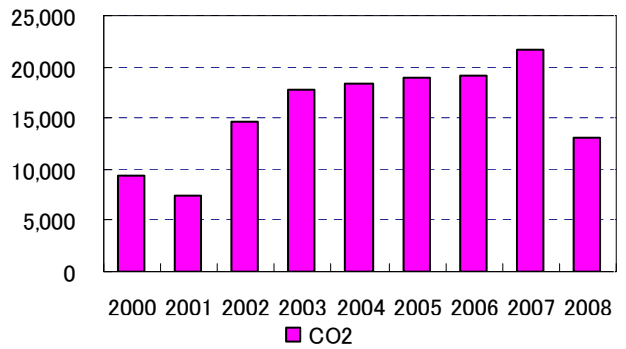
平井克佳

環境負荷データ

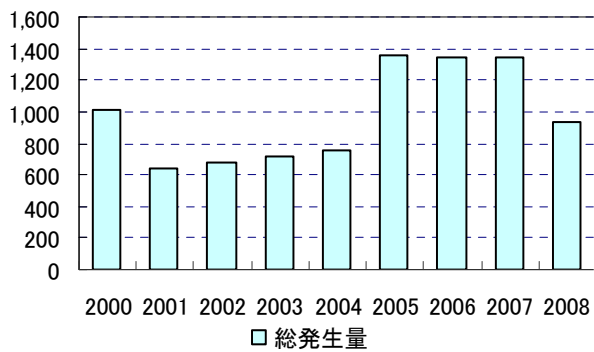
エネルギー使用量 (単位:kL)



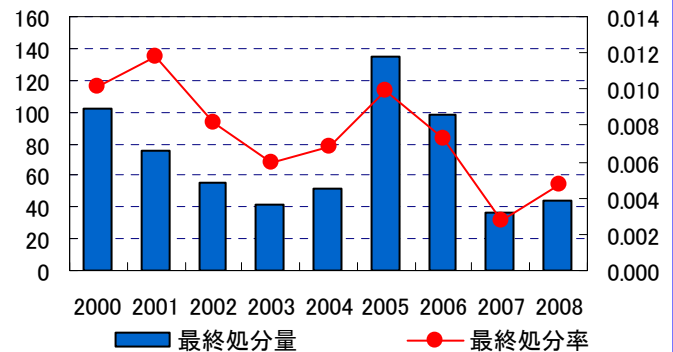
CO<sub>2</sub>排出量 (単位:トン-CO<sub>2</sub>)



廃棄物総発生量 (単位:トン)

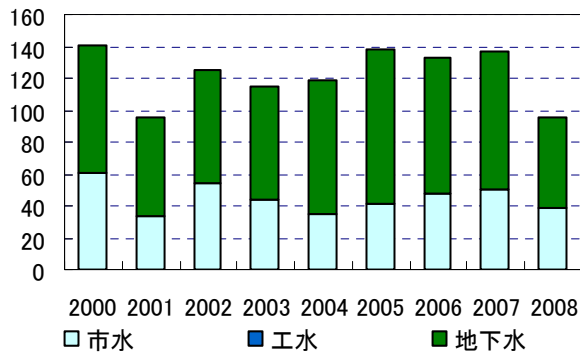


廃棄物最終処分量と最終処分率 (単位:kg, %)

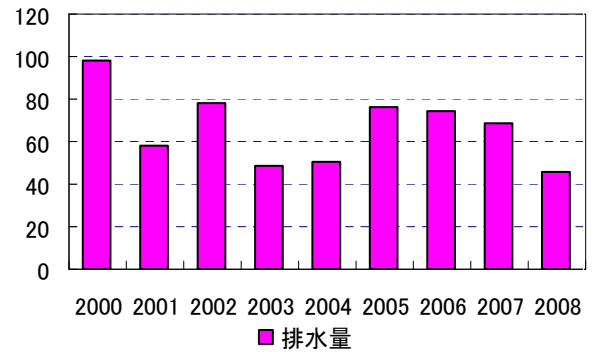


主な廃棄物名: 廃プラスチック、研磨汚泥、溶剤廃液、廃酸

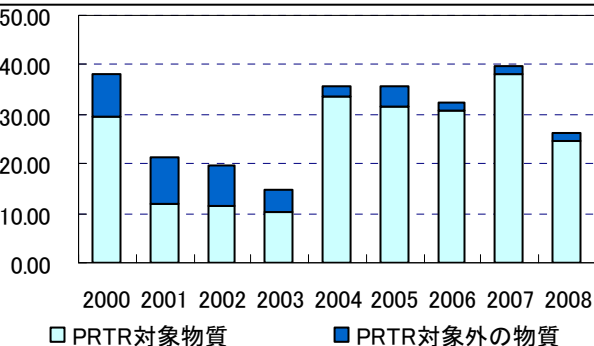
水の使用量 (単位:千m<sup>3</sup>)



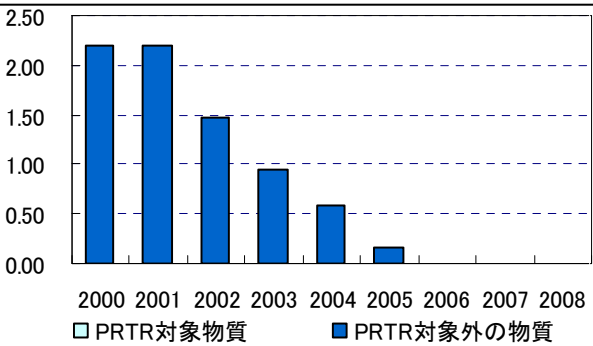
排水量 (単位:千m<sup>3</sup>)



第4次ボランタリープラン削減対象の取扱量の推移 (トン)



第4次ボランタリープラン削減対象の排出量の推移 (トン)



主な化学物質: 4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物 (液状のものに限る)、アンチモンおよびその化合物、銀およびその水溶性化合物、硫酸、苛性ソーダ。

## 遵法管理状況

### 大気測定結果(対象施設なし)

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	—	—	—
SOx(Nm3/h)	対象外	—	—	—
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	—	—	—

### 排水測定結果(主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8～8.6	6.1～8.3	7.3～7.9	1回/週
BOD(mg/ℓ)	160.0	56.0	9.5	1回/週
COD(mg/ℓ)	160.0	56.0	5.4	1回/週
SS(mg/ℓ)	200.0	70.0	5.0	1回/週
窒素(mg/ℓ)	160.0	42.0	1.35	1回/週
フッ素(mg/ℓ)	—	—	—	—

### 騒音・振動測定結果(特定施設(騒音 5 施設(空気圧縮機)、振動 5 施設(空気圧縮機))

	測定場所・時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界: 昼	65	64	52	2回/年
	敷地境界: 夜	55	54	49	2回/年
振動(dB)	敷地境界: 昼	65	50	<30	1回/年
	敷地境界: 夜	60	50	<30	1回/年

### その他測定結果(下水道法: 主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0～9.0	5.3～8.7	6.8～7.9	毎日
BOD(mg/ℓ)	600.0	420.0	12.9	1回/週
SS(mg/ℓ)	600.0	420.0	120.0	1回/週

### 環境事故・指導指摘・苦情の有無

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし